



しもあか

二輪草学びのエリア

(赤塚三中・赤塚小・赤塚新町小・紅梅小・下赤塚小)

令和5年 5月 31日

板橋区立下赤塚小学校

校長 菊池 宏一

学校便り NO. 3

ホームページ

<http://www.ita.ed.jp/edu/simoaes/>

トルコ地震募金活動報告

校長 菊池 宏一

令和5年2月6日にトルコで発生した大地震への支援として行った募金活動が、実行委員のトルコ共和国大使館訪問という活動へと発展しました。これまでの経緯と、児童の感想等をお知らせいたします。

6年生は、5年生の3学期に社会科で「自然災害」について学び、同時期に発生したトルコ地震の被災状況を新聞等で知りました。さらに100年以上前の「エルトゥールル号座礁事故」から続く日本とトルコ共和国との友好関係を学ぶと、子どもたちからトルコ共和国を支援したいという声が上がりました。実行委員会が組織され、学校の中だけでなく、下赤塚の商店街をも巻き込んだ募金活動が展開されました。

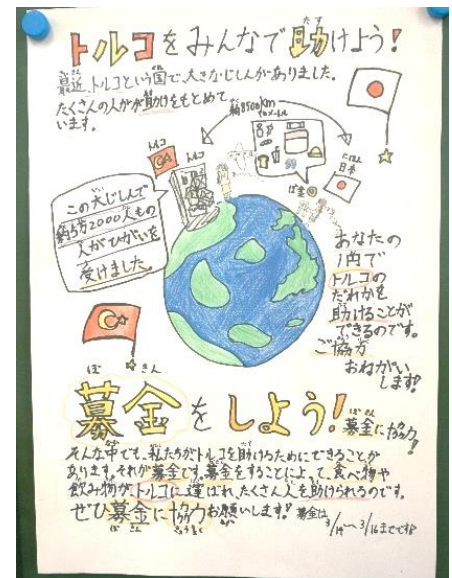
児童や地域の思いを駐日トルコ大使に伝えたく、私と桑島主幹教諭でトルコ共和国大使館へ面会をお願いにあがったところ、5月24日(水)の15時から15分間、コルクット駐日トルコ大使がお時間を割いていただけることになりました。

当日、実行委員18名とともにトルコ大使館を訪れると、広間へ通されました。広間のテーブルには「おもてなし」の準備がされており、私たちが席に着くとコルクット駐日トルコ大使がいらっしゃいました。代表児童が活動経緯を説明し、目録を大使へ手渡すと、同席されていたエスラ・オズベケー等書記官は、涙ぐまれていました。その後、トルコの伝統的なお菓子とお茶をみんなでいただきながら、コルクット大使と素敵なティータイムを過ごしました。最後に、トルコ支援プロジェクト実行委員の感想をお伝えします。



<活動経緯>

- ・2月6日 トルコ・シリアで大地震発生
- ・2月24日 社会科「自然災害」の学習でトルコ地震の被災状況、さらに、トルコ共和国と日本は「エルトゥールル号座礁事故」から友好関係が100年以上続いていることを知る。
- ・2月下旬 トルコ共和国を支援したいという声上がり、実行委員会が発足。
- ・2月下旬 実行委員会での話し合いで、全校で募金を行うことが決まる。
- ・3月6日 実行委員が朝会で募金活動呼びかける。
募金を呼びかけるポスターを各学級に配布
- ・3月上旬 首里城火災のときに、沖縄ではお店に募金箱が置かれたことを参考に、地域での募金活動が発案される。
- ・3月中旬 校内での募金活動を実施。
商店街に設置する募金箱を作成。
- ・3月23日 JICA 協力隊を育てる会の八林会長による特別授業で、海外支援の有効な方法等を学習する。
- ・3月下旬 下赤塚商店街等での募金活動を実施。
- ・4月18日 校長と桑島主幹教諭がトルコ大使館を訪問し、トルコ大使への謁見のアポ取り。
- ・5月24日 実行委員が駐日トルコ大使館を訪問しコルクット駐日トルコ大使へ募金活動報告。



<実行委員の感想>

1組

- ・みんなで協力して、目標を達成できてよかった。
- ・募金活動で人が喜んでくれたので、やってよかったと思う。トルコが助かってほしい！
- ・この支援プロジェクトで、トルコが一刻も早く復興することを願っています。
- ・私が一番心に残ったことは、たくさんの人が募金に協力してくれたことです。私はたくさんの人と協力して助け合うことの大切さを改めて知りました。
- ・トルコ支援の募金活動をして、たくさんの人がトルコのために募金をしてくれたので、トルコが1日でもはやく元通りの姿になってほしいです。
- ・実際にトルコ大使と会わせていただいて、何よりも日本とトルコのことを考えてくれている優しいお方でした。
- ・これからもトルコと日本が良好な関係でいてほしいです。

2組

- ・このようなことを学んで、困っている人が居たら助けたいと思いました。
- ・この経験をいかして他にも困っている人を助けたいと思いました。
- ・最初はうまくいくか分からなかったけれど、最後は大使館に行って伝えられてよかったです。
- ・一生に一度しかないこのチャンスをいただき、いろいろな人が苦しんでいることを学びました。

3組

- ・トルコと日本の関係について調べて、大使館の方が助けてくれる気持ちが何よりもうれしいとおっしゃっていて、この活動をしてよかったと思いました。
- ・トルコ大使館に行っておかしをもらったり、大使の隣になったりしてうれしかったです。自分たちで計画を立てて活動したことを報告できてよかったです。
- ・目録を渡すという重要な仕事をし、このプロジェクトの重大さが身をもってよく分かりました。
- ・自分たちが立ち上げたプロジェクトで直接大使館へ報告しました。地域の協力もあり、トルコを少しでも助けられたのではないかと思います。
- ・この活動を通して被災者やその地域が必要としている物、今困っていることを改めて知り、その手助けの一つとして募金が必要であることを学び、またたくさんの人が協力し合うことで誰かの役に立てる活動に参加できてうれしい気持ちになりました。
- ・国をまたがっても支援し合って助け合っていきたいです。
- ・ぼくは、今回トルコ大使館に行ったらトルコの人たちがちゃんと喜んで受け取ってくれてうれしかったです。さらに、質問をさせてもらって、トルコについてよく知ることができました。また、トルコへの募金活動で、助け合うことの大切さを改めて分かりました。貴重な体験ありがとうございました。



募金活動に快く協力してくださった商店街の皆様、保護者の皆様、改めてお礼申し上げます。



6月の予定

※SC・・・スクールカウンセラー

日	月	火	水	木	金	土
				1 安全指導 安全点検	2 G時程 榛名移動教室 説明会(5年)	3
4	5 朝会 委員会活動	6 NIEタイム 午前授業 (全学年)	7	8 歯科検診 (全学年)	9 NIEタイム 集会	10
11	12 クラブ活動	13 NIEタイム 都意識調査 (4年) 赤一中職場体験 SC相談日	14 放課後学習教室 1・2・3年 赤一中職場体験	15 G時程 赤一中職場体験	16 NIEタイム なかよしロング	17 S時程 土曜授業プラン 道徳授業地区公 開講座 寺子屋教室 教育実習終
18	19 プール開き	20 NIEタイム 避難訓練 日光移動教室前 検診(6年) SC相談日	21 日光移動教室 (6年)	22 NIEタイム 日光移動教室 (6年)	23 G時程 日光移動教室 (6年) 習熟4・5・6年	24
25 開校 記念日	26 読書週間始 (～7/7)	27 読書 SC相談日	28 読書	29 読書	30 G時程	

※予定は変更される場合があります。ご了承願います。

下赤塚小学校 コミュニティ・スクール委員会について

5月23日(火)に第1回コミュニティ・スクール委員会を開催しました。委員の皆様その他、本校教職員も会議に出席し、現在の学校や児童の様子を委員の皆様にお伝えしました。地域の皆様には、様々な場面で学校を支えていただいています。今後も地域と共にある学校として、コミュニティ・スクール委員会と協力しながら教育活動を進めてまいります。

《コミュニティ・スクール委員の皆様》

企業関係者 原 泰嘉 様 PTA会長 豊吉 英介 様 元PTA会長 春日 隆 様
元PTA会長 三井 昭夫 様 元PTA会長 立川 正志 様 元PTA会長 吉永 裕助 様
元青少年委員 安居院 八千代 様 赤塚幼稚園園長 小松 弘明 様 町会長 高尾 精一 様
地域コーディネーター 枇杷阪 誠 様 下赤塚地域センター所長 小山 幸夫 様 (行政委員)
下赤塚小学校あいキッズ 沖田 佑介 様 (オブザーバー)

校内研究について

今年度より2年間、本校が東京都教育委員会より体育健康教育推進校として指定を受けました。本校児童の健康な心と体の育成を目指し、体育・保健・食育の3つのテーマで校内研究を推進してまいります。令和6年度には、研究発表会を予定しております。

教育実習について

5月29日(月)より3週間、教育実習生 奈良岡 采芽(ならおか あやめ)さんが、4年1組で教育実習を行っています。よろしくお願いいたします。